

■ドールマンシステム導入によるスケール障害の解消事例

スケール障害が原因で発生する問題により、稼働率の低下だけでなく、衛生面・コスト面など、さまざまな所に悪影響が及びます。これらを解消するには、根本原因を断ち、再発の防止が不可欠です。

酒造メーカーA 《パストライザー》

雑菌の発生
運転停止



SUSフィルターの目詰りで、設備が自動停止する。

冷却槽に雑菌が繁殖して衛生と品質の問題に。

雑菌発生の抑制
運転停止の減少

自動停止や清掃による生産停止を防止で

稼働率の向上



酒造メーカーB 《蒸留器》

水垢障害
性能低下



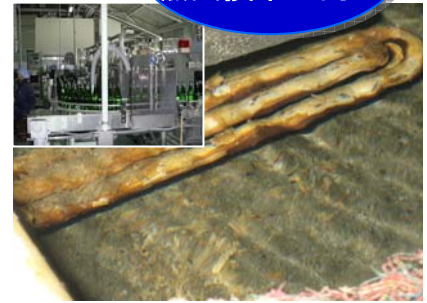
循環ラインや槽内が汚濁して性能と生産の低下に。

連続して稼働するため計画的なメンテナンスができない。

抽出性能の回復
熱交換率の向上

薬品洗浄の繰返しや清掃労務費の増大を防止で

再発コスト
の削減



飲料メーカー 《自動洗瓶機》

散水部閉塞
稼働率低下



温水仕上槽の汚濁で、熱効率が低下している。

ノズルが詰って洗浄力が低下、運転が不安定。

噴出ノズルの回復
洗上りの向上

熱水の温度を10度下げて運用可能で
燃費の節減

ノズルの詰まり解消で洗浄力回復。洗剤の使用量も減り
稼働率向上と洗剤の削減



複合ビル 《パネルヒーター》

熱交換率の低下
光熱費のロス



定期的に高額な薬品洗浄、残留薬剤を濯ぎ作業。

熱交換率の向上
光熱費の削減

残留薬剤と過剰な濯ぎ水の防止で
薬剤と用水費の削減

清掃磨耗や劣化による設備寿命の低下を防止
長寿命の収益性

